

2025年度北海道大学情報基盤センター萌芽型共同研究成果報告書

1. 研究類型 B) 研究集会開催支援型

2. 研究課題名 高等学校「情報科」における高大連携の共有知の構築(2)

3. 研究期間 2025年 7月18日 ~ 2026年 3月 31日

4. 研究代表者

氏名	所属機関・部局名	職名	備考
布施 泉	北海道大学・情報基盤センター	教授	

5. 研究分担者

氏名	所属機関・部局名	職名・学年	備考
小松川 浩	公立千歳科学技術大学・理工学部	教授	
小泉 カー	北海道大学・情報基盤センター	訪問研究員	

6. 共同研究の成果

高等学校で、教科「情報」が必修として実施が開始されたのは2003年である。その後20年余が経過し、2025年1月には共通テスト「情報」が初めて実施された。さらに現在、高等学校の現場では、DXハイスクールの事業が推進されており、必修ではない一段上の科目として設定されている「情報Ⅱ」を行う高等学校が今後増えていくことが予想されている。生成AIに代表される情報技術の進展は、社会における個人の生活全般を、法を含め大きく変化させる状況となり、教育現場に対する要望や要求も、国ならびに家庭等を含め大きくなっていくことが予想される。本共同研究は、このような技術進展の過渡期において、高大連携を視野に、高等学校ならびに大学での教育現場を担当する教員間で、忌憚ない情報交換ならびに意見交換を行い、今後の高校大学における情報教育の推進を進めるとともに、このような忌憚ない意見交換等が行える土台作りとしての位置づけとしても、本共同研究の推進が寄与していくことを目的としている。

2025年度の本萌芽型の共同研究は、以下のスケジュールで共同研究を推進した。また、これらの共同研究での高大連携の知見を活かし、本センターが共催したAXIES2025の情報教育部会において企画セッションも開催した。

- ・7月 事前打ち合わせ (Zoom, 研究代表者の管理するMoodle上での意見交換)
- ・8月 夏の研究会の開催 (8/6)
2025年1月に実施された大学共通テストに関する校種間での情報交換ならびに意見交換。連携(高校・大学)に関する各種課題の精査。
- ・12月 AXIES2025年次大会における企画セッション開催への協力
- ・1月 冬の研究会の開催
大学共通テスト「情報」を起点とした作問ワークショップ

研究会・企画の開催概要

○2025年8月6日：研究会開催「大学共通テスト「情報」入試に関わる各種話題 ～初回実施を終えて～」

9:30～9:40 趣旨説明
9:40～10:10 情報入試を通して見えてきた、生徒の学びと課題 宮川 尊充（北海道帯広緑陽高等学校）
10:10～10:50 情報入試に関わる情報提供と意見交換 前田 健太郎（北海道札幌北高等学校）
11:00～12:00 情報入試の試験問題から ～Fitts の法則・ポイントカードを例に～
奥村 稔（北海道大学非常勤講師）
大学入学時の学生の状況 布施 泉（北海道大学情報基盤センター）

※8月4日に講演者との事前打ち合わせ、8月5日は札幌北高等学校で開催されたサマースクールに参加（高等学校教員等を対象とした各種話題ワークショップ等有）を踏まえ、8月6日午前に本研究会を開催した。さらに当日午後には、関連イベントとして、学術交流会館小ホールでの公立千歳技術科学大学主催の「高大接続セミナー」の開催とも連携した。

○2025年12月2日（11:10～12:40）：AXIES2025年次大会で情報教育部会企画セッション開催への協力
<https://axies.secretari.jp/conf2025/program/organizations>

2025年共通テスト「情報Ⅰ」から日常の情報教育を考える

オーガナイザ：布施泉・北海道大学

講師・パネリスト：奥村稔・北海道大学非常勤講師，前田健太郎・北海道札幌北高等学校，宮川尊充・北海道帯広緑陽高等学校

司会：和田智仁・鹿屋体育大学

概要：2025年1月の共通テストにおいて、初めて「情報Ⅰ」が出題された。本企画セッションでは3名の高校の先生をお招きし、共通テストを契機としたさまざまな情報教育に関する話題（フィッツの法則等を予定）を紹介してもらう。それらの話題からいくつかのテーマをとりあげ、高校現場と大学現場それぞれが対象とする情報教育の身近な話題として活かしていくことを目指したパネルディスカッションを開催する。

○2026年1月9日：研究会開催「大学共通テスト「情報」共通テスト「情報」を起点とした作問ワークショップ」

9:30～9:45 趣旨説明 布施 泉（北海道大学情報基盤センター）

9:45～10:15 作問時間

10:15～11:30 作問紹介と作問意図について（短時間講演含む）

宮川 尊充（北海道帯広緑陽高等学校）

前田 健太郎（北海道札幌北高等学校）

奥村 稔（北海道大学非常勤講師）

11:30～12:30 参加者作問紹介と意見交換・議論

12:30～13:30 昼食・歓談

13:30～13:50 意見交換と議論（その2）・まとめ

共通テスト「情報」での問う内容について 布施 泉（北海道大学情報基盤センター）

※1月7日に講演者との事前打ち合わせ、1月8日は札幌北高等学校で開催された高教研情報教育集会への参加を踏まえ、1月9日に本研究会を開催した。

教育現場で問題になりうる内容は、高大の校種の別なく、情報技術の進展とともに共有化が有益になるものがある。一方で、旅費等の予算の関係から、高等学校での研修に前後した形での情報交換ならびに意見交換が高大連携企画にて対面で実施するためには必要であると、この2年間の本萌芽型共同研究の枠組みから見えてきた。

これらの状況を踏まえ、上述した情報の入試の話題の他、日常の情報教育に係る継続した高大連携を進めるための取り組みを、今後も続けていきたいと考える。